

# ローカルオンライン構想

Link and Create 代表

福島 毅

[linkandcreate@gmail.com](mailto:linkandcreate@gmail.com)

2019/4/9更新版



# 「SDGs日本モデル」宣言

私たち自治体は、人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、企業・団体、学校・研究機関、住民などとの官民連携を進め、日本の「SDGsモデル」を世界に発信します。

- 1 SDGsを共通目標に、自治体間の連携を進めるとともに、地域における官民連携によるパートナーシップを主導し、地域に活力と豊かさを創出します。
- 2 SDGsの達成に向けて、社会的投資の拡大や革新的技術の導入など、民間ビジネスの力を積極的に活用し、地域が直面する課題解決に取り組みます。
- 3 誰もが笑顔あふれる社会に向けて、次世代との対話やジェンダー平等の実現などによって、住民が主役となるSDGsの推進を目指します。



# 日本が抱える諸問題（課題先進国）



具体的にどう進めますか？

わたしたちが提案する

新たな地域創世ソリューション

安心安全な  
ほどよい距離感のご近所づきあい  
再構築

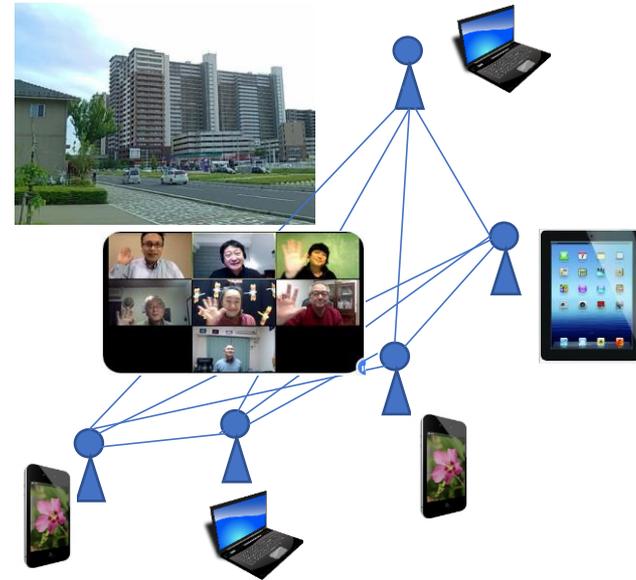
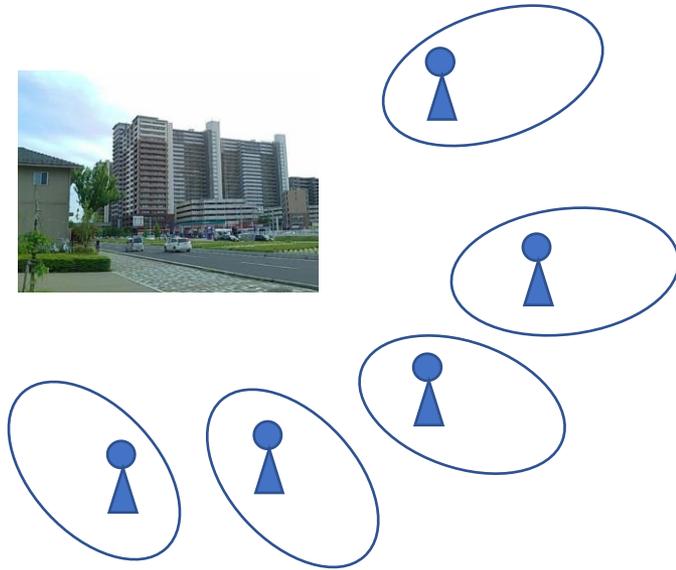
『ローカルオンライン構想』

# わたしたちの問題意識

- 地方などのローカルでリアルの場にいる人が、ゆるくつながれていくのが難しい（ご近所に対する不信感。個人がますます孤立する時代）
- オンラインツールの発達で、ローカル以外の人とも結ばれているが、オンラインに精通している人の間でしか流通していない。ゆえに閉じた市場になっていて、一部のスキル上達者の世界

## ローカルオンライン構想

### ローカル×オンライン



- ・近くに住む個々の住人は別々の会社やコミュニティに所属
- ×個々人は、家族や会社という密な空間の付き合いは持つが、互いの接点がないので地域活動などに参加しにくい
- ×互いに持っているリソースを交換したり互いが寄与しにくい

- ・ネットを介してローカルにつながる
- 適度な距離感の新しいご近所づきあいが可能（近すぎず、遠すぎず）
- 互いに持っているリソースを知れる
- リアルで会おうと思うえば、すぐに会える
- オンラインにより、遠方の人々の知恵などをローカルに活かす可能性が広がる

# ローカルオンライン構想

## オールオンライン（すべてオンラインでコミュニティ運営しようとする人々）の弱点

- ・オンラインでは意気投合しても、生身での協働が生まれにくい
- ・オンラインにリーチできない人に情報や価値が届かない



## オールリアル（リアルな場でのコミュニティしか持たない人々）の弱点

- ・地域での村社会になりがちで、マンネリや内輪・閉塞感、外部排除の傾向が出る
- ・外部リソースにアクセスできない
- ・家や職場にいる時間が拘束して、朝、昼間、夜間などの隙間時間の有効活用ができない

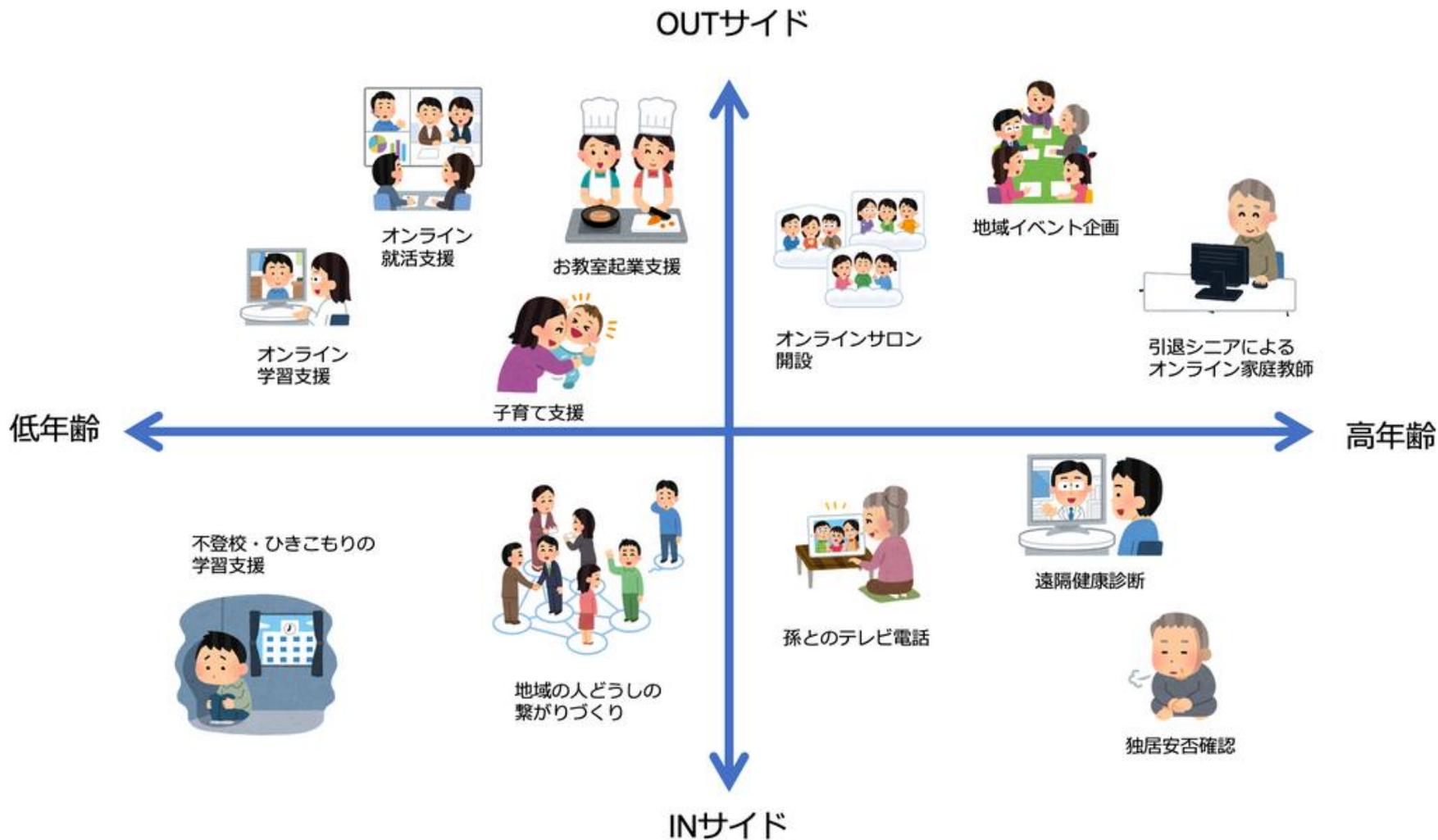


## ローカルオンライン構想

- ・ 徒歩20分圏内のローカルなエリアの人がオンラインでツール（会議室やチャット）を使える  
↓
- ・ 顔なじみになり、会ったり話したりする敷居が下がる  
↓
- ・ オンラインでつながった人々が地域の助け合い（サービス、物品、見回り）を自立的に行う

# さまざまなポジションの課題解決に向けアタックが可能です

ローカルなエリアで密にオンラインツールを使える人口を増やすことで、様々な問題が“発展的に解消”していきます・・・



たとえば  
子育て世代がいきいきと

産後うつ、孤育、ワンオペ育児・・・母親に負担がかかる、育児はツライ。

未満児育児は片時も目を離すことができず、新米ママの生活の大変さは、増加している。

『L.C.ZOOM』を活用することにより、自宅から出ることなく、遠方の両親に相談したり、公園に出かけなくても近所のママさん同士で顔を合わせながら、おしゃべりが可能になります。

※ 『L.C.ZOOM (ローカルコネクトズーム)』・・・ローカルオンライン構想実現のための実現ツールの一つ。オンライン会議Zoomを使ってローカルをつなぐ手段です。



- 産後うつ
- ワンオペ育児
- 育児ノイローゼ



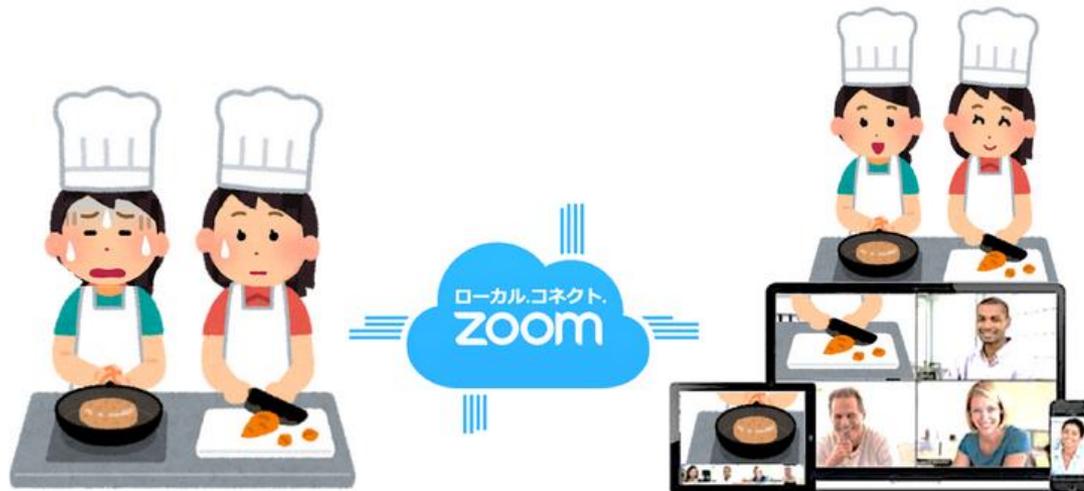
- オンラインを通して悩みを相談できる
- ヘルプを求め、『孤育』てにならない
- 公園デビューしなくても、近所のお母さんと仲良くなれる

たとえば  
お教室のオンラインスクール化

料理好きの主婦がその経験と知識を生かして料理教室を開業したが、チラシを配っても、地域のフリーペーパーに掲載しても全然生徒が増えないというケースは少なくありません。

テナントやキッチンを借りて教室を開いて売り上げがなければ赤字になってしまいます。

『L.C.ZOOM』を活用すれば自宅のキッチンで料理教室を開く事ができ、生徒さんも全国から集める事が可能になります。



- 近所に教室を開く場所がない
- 教室に生徒が集まらない

- 自宅にいながらお教室が開ける
- 全国から生徒が集まる

たとえば  
引退シニアのもつ経験を活かす

定年退職後、毎日何もやる気がおきず、外に買い物に出るのもおっくう、  
毎日テレビを見るか、ぼっとしてしまいます。このままでいいのでしょうか？

『L.C.ZOOM』を活用し近所の子どもたちに地域の歴史や文化を話したり、実際に手元を見せながら地元の工芸品の作り方を教える事が可能になります。



- 引退したシニアの知識や経験が活かされていない

- シニアがオンラインを通じて地域の子供に歴史や文化、伝承技術など学習支援

たとえば  
地域活動への参加促進

ずっと自宅の中で外出できないので、相当ストレスが溜まってきてしまいます。

毎日の過ごし方と言えば読書やTVを見ることしかなく、毎日の時間をどう使っているか、持て余してしまいます。

『L.C.ZOOM』を使えば、自宅にいながらも地域のお祭りの企画を共に作り、地域交流イベントに参加する事を可能にします。



- 気分が優れず外に出る気になれない
- 病気で外出できない

- 外出しなくても親しい人と話ができる
- ベッドの中からでも地域の活動に参加できる

## たとえば 働き方改革

働き方改革をはじめ、長時間労働の是正、ワースタイル変革、テレワーク、イクメン……。言葉ばかりで、その実、全然現実が追い付いてこない。

『L.C.ZOOM』は距離と時間の壁を越え、さらにコスト削減を実現することが可能です。

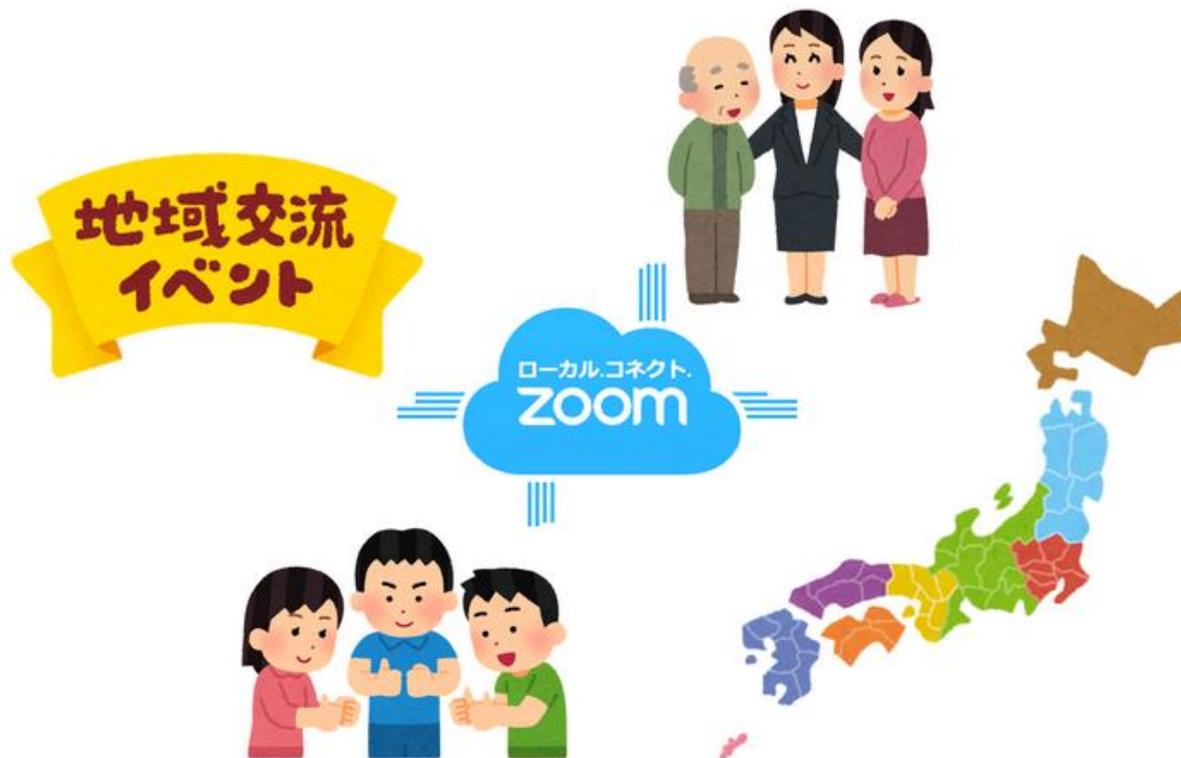


- 出張ばかりで家族と過ごす時間がとれない
- 残業ばかり、休日もゆっくり過ごせない

- 出張しなくても会社のオフィスから遠くのオフィスとオンラインで会議ができるようになります
- 出勤しなくても自宅です仕事できる様になります

私たちは、『L.C.ZOOM』を活用し  
あなたの地域の課題解決を目指します

『L.C.ZOOM』を具体的に地域で蜜に活用し、いままで解決が難しかった課題にアタック



# 構想実現の具体

## ローカルオンライン構想

ニート・ひきこもり

不登校児童・生徒  
やその家族



「引退後、何か地域貢献したいが、何をしたらいいのかわからない」（現役引退世代）



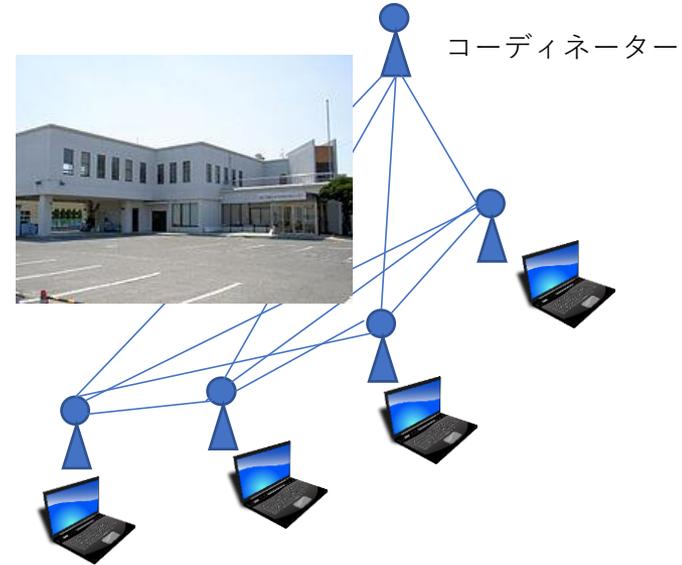
「地域で孤立して  
いて会話相手がない」



「在宅で子育てしながら、  
オンラインで仕事できない  
かしら・・・」（主婦）



「体が弱っていて、あまり家から出  
られないので、通販や各種サービス  
を使いたいが、方法がわからない」  
（高齢者、障がい者）



- ・ ITスキルを身につけられる、  
**サロンの交流拠点の存在**  
（PCは備え付けられていたり、  
利用者が持ち込んだり）
- ・ 個に応じた**訪問相談制度**あり
- ・ **財政的なバックアップ**による  
継続的事業  
（公私支援のパターンあり）
- ・ 安心して交流できる  
**オンラインプラットフォーム**

# ローカルオンラインが活発になると、 どんなマインドが起きてくるのか？

ご近所の心理的  
安全性向上

「近所にはこんな人がいるのね」  
「話しかけてみたい」  
「今度、お茶しながらじっくり話  
したいな」  
「こんなヘルプしていいかしら？」  
「こんなことでお役に立てるかも」

隙間時間の利用促進

「子どもがいるけど、日中、家からで  
もよければ・・・」  
「早朝や、夜など隙間時間もすぐに集  
まれて便利ね・・・」  
「リアルでは地域に何かできないけど、  
オンラインではできそう」

# ローカルオンラインが活発になると、 どんな行動が起きてくるのか？

ご近所での  
相互扶助  
ビジネス

- ・ 防災イベント
- ・ これできます お願いします
- ・ 地域特性を生かしたビジネス

ご近所・地域での  
イベント企画

- ・ リアル対話会 おしゃべり会
- ・ 子どものための〇〇イベント
- ・ ちっちゃなお祭りや行事
- ・ 食事会 バーベキュー等

# これを実現するためには

- 地域住民の情報弱者への必要なサポートを現場でリアルに行う事業の立ち上げ
- それを支える活動拠点と財政バックアップ
- オンラインでの交流やITスキルに精通した地域コーディネーターの存在
- 交流するためのプラットフォームづくり（オンライン会議室やチャットツール等）
- 安心安全な交流（リアルとオンライン）が図れるような対策やルールづくり、トラブル防止策

# ローカルオンラインが地域社会を変えた実例

## 世界が注目する上勝町のビジネス

「葉っぱビジネス」とは"つまもの"、つまり日本料理を美しく彩る季節の葉や花、山菜などを、栽培・出荷・販売する農業ビジネスのことです。当時農協職員だった横石知二（現・株式会社いろどり代表取締役社長）が、「彩（いろどり）」と名づけて1986年にスタートしました。現在つまものの種類は320以上あり、一年を通して様々な葉っぱを出荷しています。

葉っぱビジネスのポイントは、商品が軽量で綺麗であり、女性や高齢者でも取り組めることです。現在の年商は2億6000万円。中には、年収1000万円を稼ぐおばあちゃんもいます。

それを支えるのはパソコンやタブレット端末で見る「上勝情報ネットワーク」からの情報です。決まった数量を毎日出荷するのではありません。おばあちゃん達はパソコンやタブレット端末を駆使し、「上勝情報ネットワーク」から入る全国の市場情報を分析して自らマーケティングを行い、栽培した葉っぱを全国に出荷するのです。「上勝情報ネットワーク」では自分が町彩部会で何番目の売上を上げているかの順位が分かるようになっていて、農家さんのやる気を出させる“ツボ”をついた情報を提供しています。弊社は「上勝情報ネットワーク」を通じた農家への情報発信を行っています。



[https://www.irodori.co.jp/asp/nwsitem.asp?nw\\_id=2](https://www.irodori.co.jp/asp/nwsitem.asp?nw_id=2)

## 葉っぱビジネスの仕組み = まさにローカルオンライン



支援員が現場で高齢者のPCスキルやビジネスをサポート



ITスキルの向上により、  
高齢者のビジネス参入

高齢化問題を一挙解決

- 街の経済活性、税収増
- 人口流出を防ぐ
- 健康増進により、医療費負担額の減少
- 魅力的な街として世界から注目

# ローカルオンライン 経済循環の仕組み



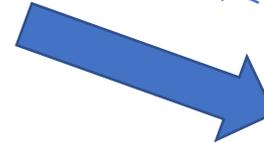
行政  
企業（不動産DPなど）

財政支援



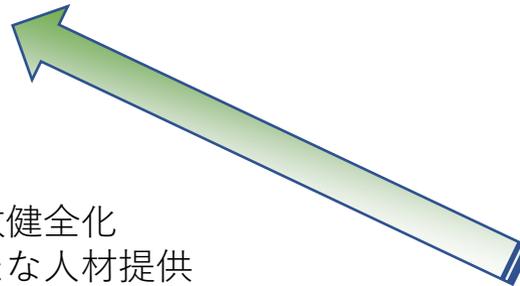
IT支援  
コミュニケーター

PCスキル教育  
コミュニティづくり



被支援者

財政健全化  
新たな人材提供



- ・ 高齢者の人材育成
- ・ 子育て世代の独立支援
- ・ リワーク支援
- ・ 就活生のリメディアル支援
- ・ 不登校、ニート、ひきこもりの教育支援、自立支援

# ローカルオンラインの バリュープロポジション

どんな強みを活かして (自分の強み)	リアルでのネットワークづくりとオンライン戦略 の双方を具備
誰の (ターゲット)	ITやオンラインにうとく、活用しきれていない が、リアルではリソースとやる気を持っている 人々
どんな悩みに (ニーズ)	時間やリソースを持て余して生きがいを持て ていない。もっと役立ちたい、自分を活かした いのにそうなれていない
いかに応えるか (自分の仕事)	ローカルオンラインという手法を広め、基盤ス キルを強化する活動を行う。使える人を増や す、インフラを提供する、コーチングする

永井 孝尚 (著) 「あなた」という価値を高く売る方法 より

# ローカルオンラインで変わる未来

～近すぎず遠すぎないご近所づきあい～



<http://blog.livedoor.jp/sammy60/archives/51302573.html>

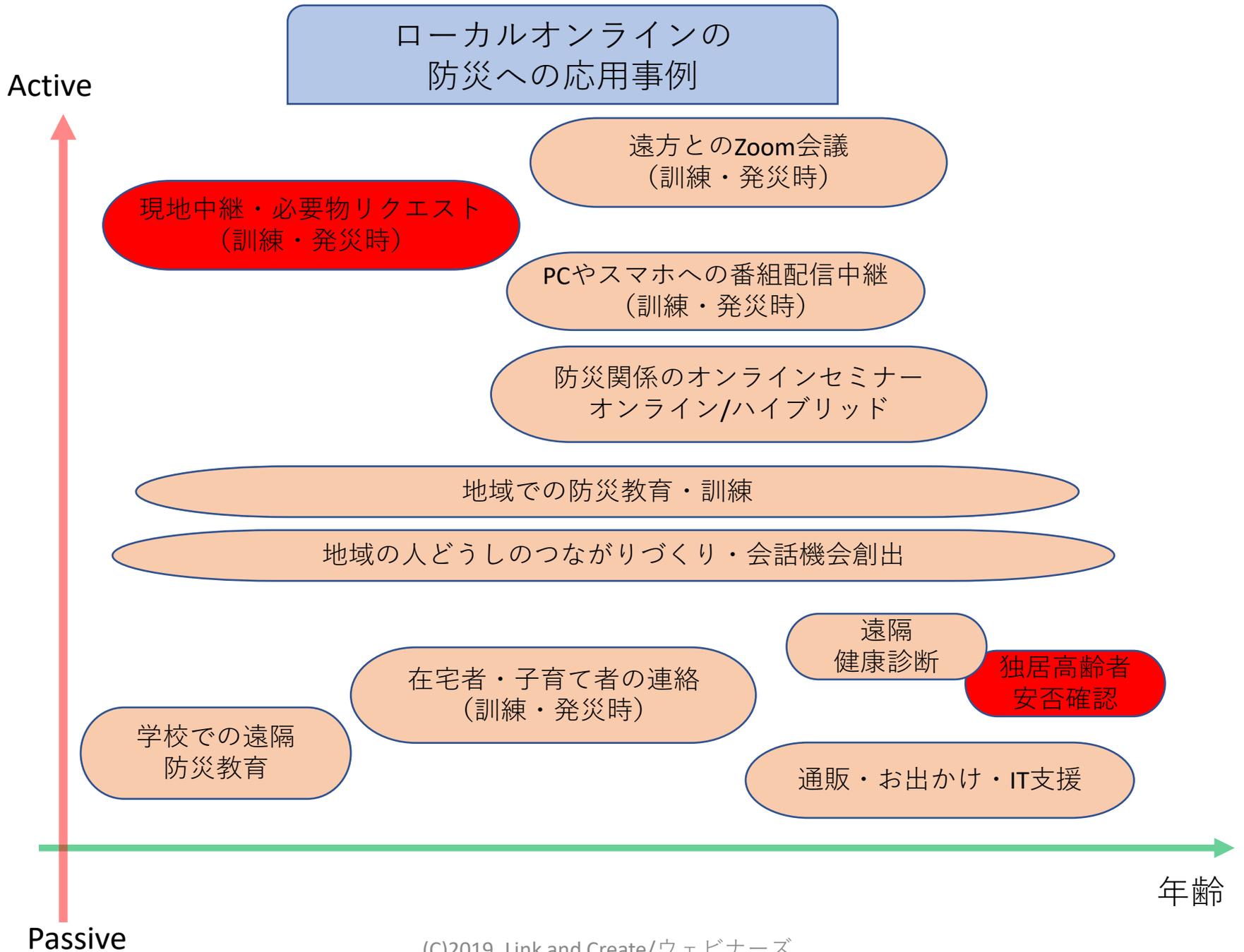
- ・ 古くからのしきたりや慣習に従わなくてはならないわずらわしさ、村八分
- ・ 近所の勝手な噂話



- ・ つきあいの深さを自己調整できるのが、オンラインのつきあい
- ・ ほどよいと感じられる距離を自分で調整できる
- ・ 心地よい距離のご近所づきあいのきっかけづくり



<https://tuma-ganbaru.com/> ちょっとなること/post-6659/



# 地域を巻き込む仕組み → ベースキャンプづくりと挑戦者育成

あなたの得意なことは何ですか？



ターゲット (SDGs都市宣言)  
神奈川県・横浜市・鎌倉市様等



SDGs担当者との面会・ヒアリング  
こちらの構想提案 (ローカルオンラインソリューション)

行政キーマン、企業・民間団体・SDGs関連団体  
キーマンのリサーチ・コネクション

サービスの提供開始  
(モニタリング)

- ・ZoomやSlack等によるコンサル・業務イノベーション支援 (中小企業等 SDGsターゲット4,8,9)
- ・ITスキル向上支援による健康増進、福祉、地域活性 (個人、地域コミュニティ等 SDGsターゲット3,11)

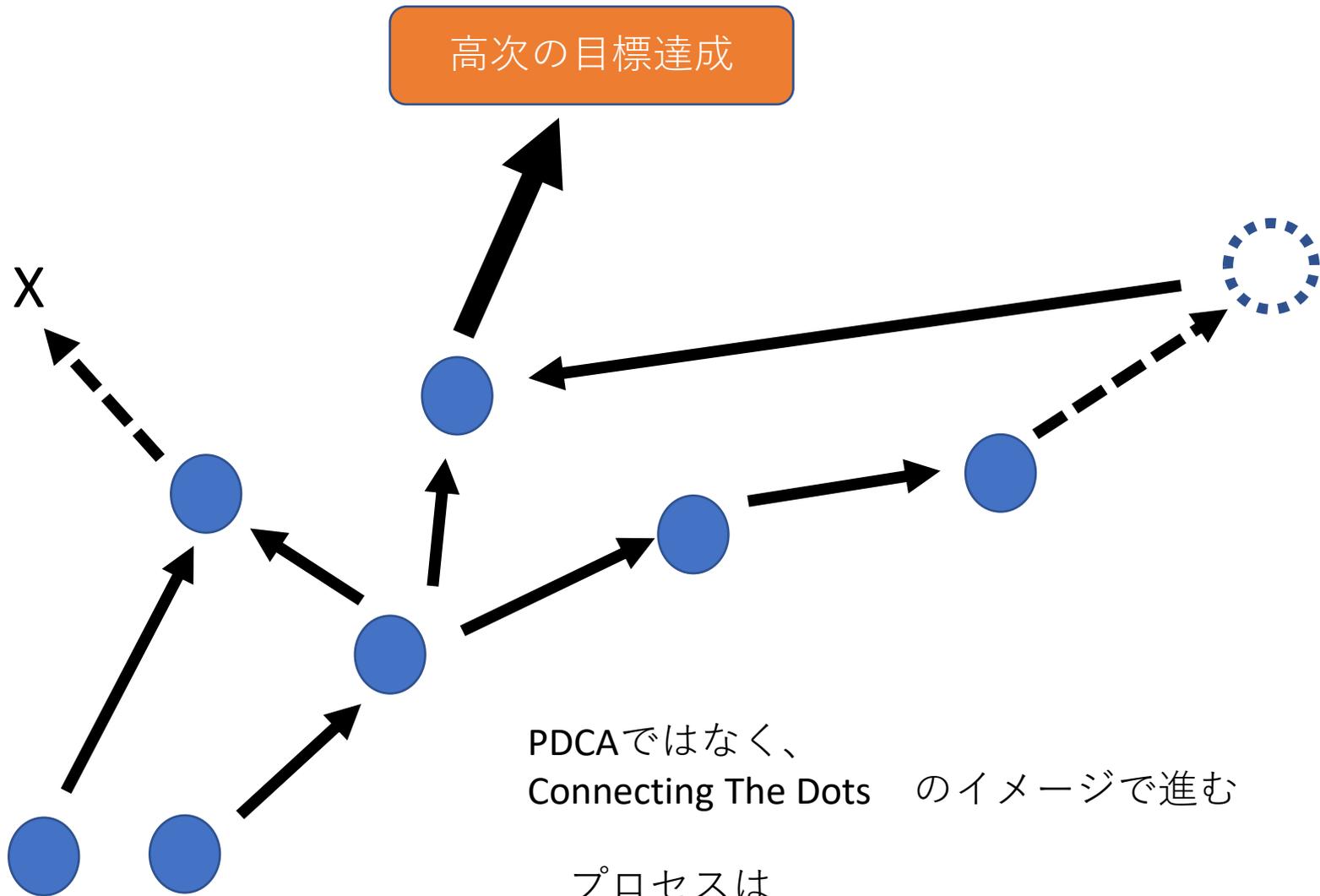
広報・ソーシャル  
インパクト

トランスローカル  
な動き

サービス拡大

協賛企業からの  
受注





PDCAではなく、  
Connecting The Dots のイメージで進む

プロセスは  
進行・停止・立ち消え  
しながら、徐々に全体として醸成されていく

# SDGsとの関連

## ～オンラインツールとの親和性～

移動のためのコスト・時間・エネルギーの圧倒的削減

ネットではフラットな人間関係性がつくりやすい  
(レジリエントで持続可能な関係性基盤づくり)

人とのほどよい距離感を各自が調整可能  
(画像や音声のON/OFF)

仲間や同志のマッチングが容易  
(ローカルな検索システム)

話し合いやまとめの場面で  
オンラインツールが解決を加速

# 地方創生における自治体SDGs推進の意義

## 地方創生の目標

人口減少と地域経済縮小の克服 / まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

人々が安心して暮らせるような、持続可能なまちづくりと地域の活性化が実現

- ・ローカルオンラインにより、即座に地域課題を見える化して共有可能。課題解決に向けて地域内で問題解決に向けての対話を継続的に行える。
- ・オンラインによるトランスローカル性によってある地域の解決事例を他の地域に伝達するスピードが速い
- ・ローカルな地域でのオンライン活用で、地域内での交流障壁が下がり、コミュニティが活性化しコミュニティ再生が行いやすい  
(例) 公園デビュー→気軽なオンラインママサロン

## 自治体SDGsの推進

### ◆地域課題の見える化

### ◆体制づくり

- ✓自治体内部の執行体制の整備
- ✓ステークホルダーとの更なる連携

### ◆自治体の各種計画の策定・改定

- ✓計画にSDGsの要素を反映し、進捗を管理するガバナンス手法を確立

### ◆課題に応じた地域間の広域連携

地方創生成功モデルの国内における水平展開・国外への情報発信

「地方創生に向けた自治体SDGsの推進について」より一部修正

# まち・ひと・しごと創生基本方針2017 ー主要ポイントー

アベノミクスを浸透させるため、地方の「平均所得の向上」を目指す

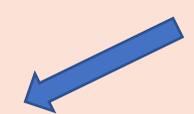
## ローカル・アベノミクス の一層の推進

- ・地域資源を活用した「しごと」づくり
- ・空き店舗、遊休農地、古民家等の遊休資産の活用
- ・地域の未来につながる地域経済牽引事業への投資の促進
- ・近未来技術等の実装、新しい生活産業の実装の推進

## 東京一極集中の是正

- ・地方創生に資する大学改革
- ・地方創生インターンシップの推進
- ・生涯活躍のまち（日本版CCRC）
- ・地方への企業の本社移転の促進
- ・政府関係機関の地方移転
- ・中央省庁のサテライトオフィスの検討
- ・地方生活の魅力の発信等（ライフスタイルの見つめ直し）

オンラインツールの適用



## 東京圏における医療・介護 問題・少子化問題への対応

- ・高齢化に伴い増大する医療・介護ニーズへの対応
- ・少子化対策における「地域アプローチ」の推進

## 地方創生の更なる深化に 向けた政策の推進 (政策パッケージ)

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

「地方創生版・三本の矢」 「自助の精神」をもって意欲的に取り組む自治体を積極的に支援

### 情報支援の矢

- ・地域経済分析システム (RESAS)

### 人材支援の矢

- ・公務員等の市町村派遣
- ・地方創生カレッジ

### 財政支援の矢

- ・地方創生関係交付金
- ・企業版ふるさと納税

「地方創生に向けた自治体SDGsの推進について」 より

# SDGsの17の目標

目標 1 (貧困)	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標 2 (飢餓)	飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標 3 (保健)	あらゆる年齢のすべての人々に対する健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標 4 (教育)	<u>すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。</u>
目標 5 (ジェンダー)	ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女子のエンパワーメントを行う。
目標 6 (水・衛生)	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標 7 (エネルギー)	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な脱炭素エネルギーを確保する。
目標 8 (経済成長と雇用)	包括的かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用とディーセント・ワーク(適切な雇用)を促進する。
目標 9 (インフラ、産業化、イノベーション)	<u>レジリエントなインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化、イノベーションを拡大する。</u>
目標10 (不平等)	各国内および各国間の不平等を是正する。
目標11 (持続可能な都市)	包括的で安全かつレジリエントで持続可能な都市および人間居住を実現する。
目標12 (持続可能な生産と消費)	<u>持続可能な生産消費形態を確保する。</u>
目標13 (気候変動)	気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14 (海洋資源)	持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する。
目標15 (陸上資源)	陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・防止および生物多様性の損失の阻止を促進する。
目標16 (平和)	持続可能な開発のための平和で包括的な社会の促進、すべての人々への司法へのアクセス提供、およびあらゆるレベルにおいて効果的かつ包摂的なガバナンスの確保
目標17 (実施手段)	持続可能な開発のための実施手段の強化し、 <u>グローバル・パートナーシップ</u> を活性化する。

オンラインによりボーダーレスな学習環境を提供可能

オンラインで都市に集中するホワイトカラー業務を地方分散可能

オンラインのインフラは建物環境によらない

都市集中の仕事を分散

圧倒的な移動手段削減によるエネルギーコスト減

グローバルに空間を越えて展開可能

「地方創生に向けた自治体SDGsの推進について」より

# 私たちがご提供できること

- 重ねてのアイデアや情報ご提供・関連会議への出席
- 構想実現のためのモデル地区へのITコネクター人材派遣
- 福祉・教育関係者様へのZoom等オンラインツールやプラットフォーム及び研修のご提供



Link and Create  
代表 福島 毅

〒277-0005  
柏市柏2-6-17 染谷エステートビル702

090-4360-2004  
linkandcreate@gmail.com

# 各自治体様へのお願い

- 今後の情報交換・連携の模索
- 当プロジェクトに関心ある官民団体またはキーマンのご紹介
- 担当者様を結んだ研究会へのご参加



Link and Create

代表 福島 毅

〒277-0005

柏市柏2-6-17 染谷エステートビル702

090-4360-2004

linkandcreate@gmail.com